

### 2gの摂取で食後の中性脂肪上昇を抑制

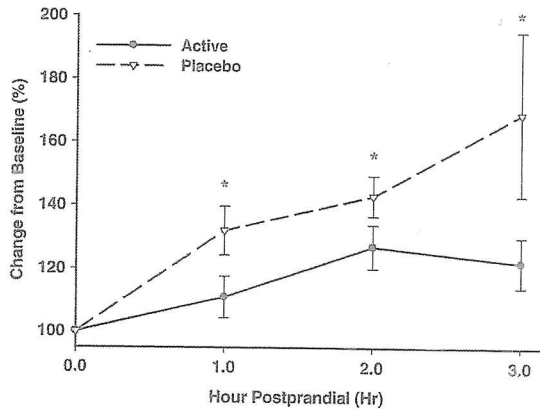
## α-C/Dで機能性表示届け出へ

### シクロケム

多機能食物繊維「シクロデキストリン」の原料供給および機能性研究を行うシクロケム(東京都

中央区、〒103-0001 4-7147)は、ヒト臨床試験で中性脂肪低減効果を確認している「α

シクロデキストリン」で機能性表示食品の開発を目指している。米国・アーチン社が



健康な男女34名(平均BMI:25.04)を対象に実施した2重盲検試験では、被験者に朝食として市販の高脂肪食(脂肪分26g含有)を摂取させた後に「α-シクロデキス

トリン」2gを摂取させ、ロケムでは本論文を用いた。本研究結果については米国の医学雑誌「メタボリズム」に査読付き論文が投稿されており、シクロケムでは本論文を用い

て機能性表示に向けたシステマティックレビューを構築している。同論文は18歳以上の被験者を対象としているため、20歳以上の被験者のみを再度統計処理しても中性脂肪は有意に上昇抑制されていた。論文でのデータを添付し、近日常に消費者庁への届け出を行う予定だ。同社では「一般の難消化性デキストリンは摂取目安量を15g程度としている製品が多い中、『α-シクロデキストリン』は1日当たり2gと設定しているため、少量で機能性を発揮できることが最大の強み」としており、「α-シクロデキストリン」の優位性を訴えていく考えだ。

食後1時間ごとの血液中の数値を比較。その結果、プラセボ摂取群に対してα-C/D摂取群では血中中性脂肪が定値を示し、α-C/D摂取による中性脂肪の有意な上昇抑制効果が確認された。